

豊寿園

FRUIT FULL TREE

豊かな樹

Spring 2015

Vol. 26

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING
HOME
HOJUEN

TOPIX HOUJYUEN×FAMILY CARE MEMO HOUJYUEN'S ALBUM
AREA INFORMATION EDITORIAL NOTE MORE CROSS



新園長ご挨拶

平成27年4月1日付にて、豊寿園園長を拝命いたしました森広樹でございます。私は、平成16年4月から4年間事務課長として、豊寿園で勤務させていただきました。このたび7年ぶりに豊寿園で勤務させていただくこととなりました。

さて、今年度の介護保険改正では、様々な制度の見直しが行われております。

私たち、福祉施設にとつては非常に厳しい内容であり、事業運営については、一層の努力が必要でございます。そのような状況ではございますが、今一度初心に立ち返り、開園以来一貫して取り組んでまいりました認知症の方の個別的な介護サービスの方の更なる充実に努めます。また、運営方針である「地域に愛される福祉施設」の実現に向け、職員一丸となつて進んで参る所存でございます。最後に、ご家族はじめ、ボランティアの方、家族会、地域の皆様に、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

特別養護老人ホームの入所条件が変わりました

平成27年度の介護保険改正によって、特別養護老人ホームの入所条件が見直されました。これは、住み慣れた自宅で介護を受け続けることを推進していくという方向性のなかで、特別養護老人ホームについては、中重度者の受け入れに特化させるという考え方に基づくものです。これまでは要介護1以上であればどなたでも入所することが出来ていましたが、4月以降は、要介護1、2の方については一定の条件を満たす方であれば、入所待機することができなくなります。また、入所後の要介護度の見直しにおいて、要介護1、2に変更されたも同様にこの条件を満たすことが必要となる事から、条件をみだせない場合には退所していただくこととなりますので、注意が必要です。

平成27年4月以降で、北九州市内の特別養護老人ホームに入所のできる方は次のとおりです。

(1) 要介護3～要介護5の方

(2) 要介護1・2の方で、居宅において日常生活を営むことが困難なことについて次の①～④のやむを得ない事由(特例要件)に該当する方

- ① 認知症である者であつて、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さ等が頻繁にみられること
- ② 知的障害・精神障害等を伴い、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さ等が頻繁にみられること
- ③ 家族等による深刻な虐待が疑われることに等により、心身の安全・安心の確保が困難であること
- ④ 単身世帯である、同居家族が高齢又は病弱である等により家族等による支援が期待できず、かつ、地域での介護サービスや生活支援の供給が不十分であること

平成27年6月からの入所待機申し込みについては、4月30日が締め切りです。お申し込みがお済みでない方は急ぎ、ご希望の施設でお手続きください。

トピックス

T O P I X



自己評価報告会を行いました！

3月25日、サービスの客観的評価とその改善を目的として、豊寿園第三者委員を交えての自己評価報告会を行いました。

当日は、北九州市の外部評価基準を基にした各部署による自己評価内容と平成26年度中に受け付けた苦情内容についての報告を行い、委員からのアドバイスを受けました。



介護研究発表会を行いました！

3月24日、豊寿園の職員が一年間取り組んだ成果を発表する、介護研究発表会を行いました。今回は9作品のエントリーがありました。

白熱した発表が繰り広げられましたが、審査の結果、デイサービスが発表した、利用者様が混乱なく過ごして頂くための関わりについての発表が一位を獲得しました。

ボランティアティアさんへの救急法講習会を開催しました！



1月17日、豊寿園で活動いただいています、北九州赤十字看護奉仕団じゅんの会の皆さんを対象とした、赤十字救急法講習会を行いました。当日は、豊寿園の救急法指導員である、荒木施設介護係長指導の下、心肺蘇生やAEDの使用方法などの実技に皆さん熱心に取り組まれました。



赤十字ボランティアオリエンテーションを開催しました！

3月6日、JR門司駅すぐそばの門司赤煉瓦プレイスにて、ボランティアを始めてみたい方を対象とした講習会を開催しました。

当日は、ボランティアの心がまえや意義の他、車いすの操作などの介助方法も学ぶことができました。この講習会については、27年度も引き続き開催を予定していますので、興味がおありの方はお気軽にお問合せください。

T O P I X



Please trust us.
私たちにまかせてねっ。

松ヶ江北小学校 6年生と福祉
についての交流を行いました。
1回目は福祉の仕事について。
2回目は認知症について。3回
目は高齢者との交流。
みんな真剣に学んでくれました。
この春、小学校より巣立ったみ
なさん。
きっと高齢者に優しい中学生
になってくれたと思います。



The cross
which will do
The Japanese Red Cross Society
which will do

With the world,
it crosses more!
The Japanese Red Cross Society
which will do



I'm glad about your
smiling face.
あなたたちの笑顔がうれしい。

新門司保育所へ訪問しました。
優しい笑顔と小さな手と握手。
うれしさで自然と笑顔がでました。

More Cross

あなたと向き合った日々 HOUJUN × Family

今回、荒木施設介護係長のインタビューを受けてくださったのは、山村様です。ご自宅での介護ののち、現在は奥様が豊寿園にご入所されています。そんな、山村様に在宅での介護についてお聞きしました。



今回インタビューに応じてくださった山村様 毎週面会に来られては、奥様との時間を過ごされています。

私が1人で介護していた頃は、認知症の介護について相談できる隣人や親族は身近にいなかったです。

何かおかしいなと感じたのは、毎日やってきた家事、特に食事の準備がうまくできなくなったり、スーパーで買い物する時に財布に大金を入れ、お釣りの小銭は自宅で貯金するようになったことです。また、胃が痛い、耳が痛いと不定愁訴が多くあり、門司や小倉の病院を受診しましたが、明らかに異常はないと言われました。認知症がそんなに悪くない時に受診したもので、原因もよくわからず、自宅の階段を5階まで昇り降りできるうちは自分が何とか看ようと考えていました。

私は専門家じゃないから、当時は専門書やテレビの認知症特集なんかで勉強しました。今となっては、どこまで自分でさせて、どこから介護が必要だったのか、その判断がうまくいかなくて、本人に悪影響があったのではと悔やまれます。

当時は私も必死でした。毎日が泥棒騒ぎでした。

決定的に異常だと判断したのは、ある寒い日にベランダから布団を落とし、寝間着を抱えて外に出ていこうとする行動でした。「こりゃいかん！」と思いました。以前から〇〇病院に行つたらいいと耳にしていたこともあり、平成17年頃にアルツハイマー病の診断を受けました。

それからは毎日が大変です。泥棒騒ぎです。大事な物を自分でしまい込み、あとになるとそれが何処にいったのか分からなくなるんです。幸いなことに私は犯人にされませんでした。

当時は私も必死になって探すものですが、中々みつからず焦ってパニックになっていました。今、冷静に考えれば、例えば①枕の中、②押し入れの中、③カバンの中つな具合で、普段の傾向から考えればもっと簡単に見つけだせただろうでしょうけどね。

また、昔住んでいた実家に帰ろうとしていたんでしょか、方角が分からなくなつてからは1日に3回ぐらひ徘徊するんです。田野浦とか、戸畑まで…。だから玄関の鍵を増やしたりしましたが、ドンドン扉を叩くんです。そんな状況だったから、普段着ている服に名札を縫い付けていました。

そうすることで、近所や一般の方々からの連絡や協力が得られました。時々警察の保護を受けることもありましたが、名札が無いと警察も困るんですよ。

今では、面会に行くことが私の日課になっています。

だんだん1人で介護するのが大変になってきたところで、以前かかっていた病院のデイケアや、ショートステイサービスを利用するようにになりました。また、病院から豊寿園の話聞いて、『今のうちから入所手続きをしていた方がよいよ』と勧められました。

入所の申し込み当初は、2、3年ぐらひは待たされるだろうと考えていました。ですが、夏に申し込んで秋には待機順位が回ってきたとの連絡を受けた時は驚きました。あまりにも連絡が早かったこともあって、家内が入所の環境に持ち堪えるだろうか心配もありましたが、このタイミングを逃したら、またいつ入所順が回ってくるかわからないものですから、思い切って決断しました。

家内は不安があると、落ち着かなくて状態が悪くなると思います。面会に行つて、帰る時には機嫌が悪くなります。昔から本人の得意だった洋裁の話をして、どうやら忘れてしまっている様子ですが…。入所してからはずっと動きが緩慢となって、だいぶ落ちていて過ごせるようになったと思います。今では週2回、曜日を決めて面会に行くことが、私の日課になっています。

介護一口メモ CARE MEMO

前回に引き続き、ロコモについてご紹介します。

ロコモとは運動器症候群:ロコモティブシンドロームの略です。「運動器の障害」により「要介護になる」リスクの高い状態になることを言います。日本整形外科学会が、2007年(平成19年)に、新たに提唱しました。「ロコモ」の提唱には、「人間は運動器に支えられて生きている。運動器の健康には、医学的評価と対策が重要であるということを日々意識してほしい」というメッセージが込められています。今回は、自宅で行える運動療法をご紹介します。

ロコモその1 : **開眼片足立ち訓練(ダイナミックフラミンゴ療法)** 阪本桂造2006年
片脚ずつ交互に行ってください。右足立ちで1分間+左足立ちで1分間。朝昼晩、1日3回。これを繰り返してください。ご高齢の方は机や平行棒につかまりながら行ってください。転倒に注意してください。

開眼片足立ち訓練



1 分間

- 目は両目を開ける
- バランスが悪い場合はテーブルなどに軽く手をついても良い
転倒しないように必ず掴まるもののある場所で行いましょう
- 片足は前方に5cmほど上げる



右足で
片足立ちを
1 分間



左足で
片足立ちを
1 分間

朝 昼 晩
× 3 回 = 1 日分

片足立ちは両足立ちと比べて2.75倍の負荷がかかります
1分間の片足立ち訓練=約53分間歩行に相当します!

地域ぶらり情報



門司港の閑静な住宅街に、一際、目につく建物がある。その建物は、大正元年に建てられた料亭『岡崎』。かつては、政府高官の接待や商人の歓待の場として賑わっていた。もちろん、現在も料亭は続いている。

その料亭の門をくぐった右側に和風喫茶『カフェと小さなギャラリー★おかざき』がある。古い建物を生かし、落ち着いた雰囲気の内装になっている。おしゃれなハンガー掛けは、ぜひ見てほしい。店内では、月替わりで色々な作家の作品を展示販売しており、4月陶芸・5月絵画。

皆さんも歴史ある建築物のなごりに触れながら美味しいコーヒーやスイーツを食べませんか？

コーヒー、紅茶540円、ミルクティー、カフェオレ650円、自家製ケーキ430円より

カフェと小さなギャラリー★おかざき

北九州市門司区老松町11-7〈料亭 岡崎内〉

TEL 093-321-0319

【営業時間】 AM11:00～PM4:00

【定休日】 日・祝祭日

異動のお知らせ

廣瀬智昭	豊寿園園長	⇒	嘉麻赤十字病院
森 広樹	福岡赤十字病院	⇒	豊寿園園長
福田 康	豊寿園主事	⇒	豊寿園庶務係長
徳永 優	2階副主任介護職員	⇒	2階主任介護職員
林田浩彦	2階副主任介護職員	⇒	デイサービス
寺岡理恵	2階介護職員	⇒	2階副主任介護職員
師井大介	デイサービス	⇒	2階副主任介護職員
川崎 葵	育 休	⇒	2階介護職員
桑野辰也	1階介護職員	⇒	2階介護職員

あとがき

いよいよ平成27年度が始まりました。豊寿園では、3年間園長を務められた廣瀬智昭園長が嘉麻赤十字病院へ異動となり、新たに、森広樹園長が着任されました。

今年度は、介護保険の改正により園を取り巻く環境は厳しいものがありますが、事業の両輪である「広報」に益々、力を注ぐことでこの難局を乗り越えていきたいと考えています。

また、この広報誌「豊かな樹」も、前月号で行いました読者アンケートの結果を踏まえ、今回よりコーナーなどの見直しを行いました。より見やすく、より楽しい紙面づくりを行って参りますので、今後も「豊かな樹」をお楽しみに。

平成27年度広報委員 森 英樹



今回表紙を飾ってくれたのは、1階特養棟の山中令子さんです。大学卒業後入職した3年目の介護職員です。小雨の降る中、門司港レトロに出かけ、素敵な笑顔を振りまいてくれました。

今回のCOVER GIRL



1



年賀式。
今年もみなさん
よろしくお願ひします



大きな獅子と小さな獅子に
福を貰いました。



HOUJYUEN'S ALBUM



豊寿園
 アルバム

今年も
 みなさんの
 いっぱいの笑顔と
 一緒に過ごしたい。

2 鬼は外!! 服は内!! 一年の災いを全部追い払え!!



3 桃の節句 お雑様より素敵な笑顔でしょ。



Spring 2015

Vol.26

TOPIX

HOUYUEN X FAMILY

CARE MEMO

HOUYUEN 'S ALBUM

AREA INFORMATION

EDITORIAL NOTE

MORE CROSS

FRUITFULL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER THE SPECCIAL NURSING HOME HOUYUEN